

豊能定例会議

- 10 : 00～ 《代表理事より》
- ・ 横展開WG
 - ・ 予算進捗
 - ・ 契約関連
 - ・ アンケートの段取
 - ・ APIカタログ

《事務局より》

- ・ 議事録の確認
- ・ 9月定例会予定 現地29日のみ
- ・ 総会

10 : 30～ 分科会

今後のスケジュール

- ・ 9月22日 総会
- ・ 10月19-20日 各自治体、豊能町視察Week

九州デジタル推進の検討事項

- (1) 携帯電話基地局整備について（5G基地局整備に限る。）
- (2) 光ファイバ整備について（光ファイバ未整備地域の光化に限る。）

会議内容：

基本は通信インフラの整備がデジタル推進の内容

5Gの整備状況と活用方法を検討

大都市圏では5Gが進むが、九州ではなかなか進まない。

5Gサービスが無いから進まないのか、5Gインフラが無いからサービスが無いのかの鶏卵

5Gインフラの整備を推し進めれば、サービスが生まれてくる

方向性： IoTや5Gを活用するには人より家畜が多いので家畜管理などが5Gの可能性を高める

5G事例：徳島県 中央病院と地方病院をローカル5Gで繋ぎ手術ができるか検証中。

参加自治体

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

ふくいコンシェルジュ

- ふく育・ふく割をベースとして連携
 - その他 サービスを随時導入
 - ヘルスケア：歩数など
- 11月リリース

8月26日 福井MaaS協議会

SWAT/Docomoから豊能町の取組み説明（人流・交通分析&AIオンデマンド交通の多重化）

9月2日 福井県（17市町）

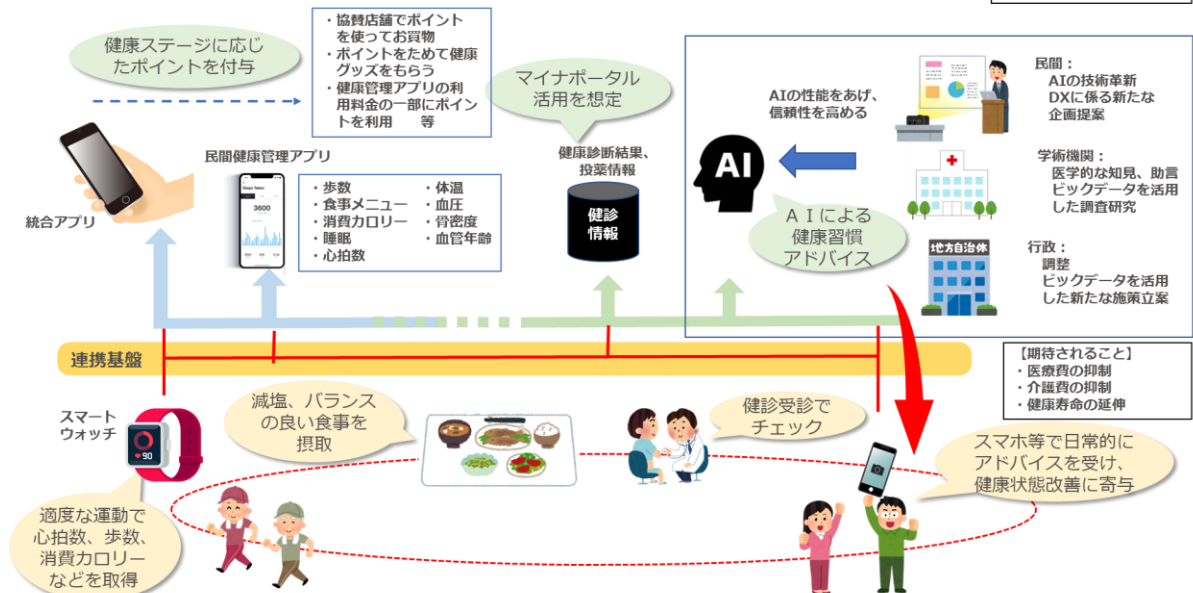
ヘルスケア（大阪大学/マリア、I&H、MOVETEX、Y4、ITSCOM）

来年度政策検討

- 地域通貨活用
- 歩数ポイント、スポーツ応援

連携基盤を活用した産学官連携パーソナルヘルス管理

政策ディスカッション
向け資料（未調整）
R4.8.24：健康政策課



現状と課題

(現状)

- ・ DX推進による、「**土台作り**」と「**個別改善（地域課題解決を通じた利便性・生産性向上）**」で一定の成果
- ・ デジタルならではの**サービス連携/データ流通**に向けて、「**県民向けサービス連携基盤**」を整備（R4.11～）
 - ※「ふく育」「ふく割」連携を皮切りに、連携基盤を市町・民間へ開放
- ・ **デジタル利用が一定浸透**（「ふく割」を県民の約半数が利用：約36万人）

(課題)

- ・ DXで生産性を挙げるも、今後、**行政単独での地域課題解決の継続は困難**（財源・人材・解決手段の制約）
- ・ 人口減少に伴い、産業市場も縮小する懸念。従前の競争環境では**事業者も採算確保が困難**

今後の目指すべき方向性・実施方針

※国も「デジ田構想」において、デジタル生活基盤の再構築による地方活性化を目指す

- ・ 行政単独ではなく、**行政・県民・事業者が共に協力し支え合う「共助」のエコシステム**を構築
- ・ **「データ流通を可能とする基盤」提供**に加え、**「行動変容」を促すデジタルの仕組み**を整備

①「県民向けサービス連携基盤」の面的活用推進（コミュニティの構築）

- ・ 公民データ公開による課題共有、サービス間連携による相互補完、積極的な県民参画より、官のみならず、事業者や住民が**自らサービス提供（課題解決）を狙うエコシステム**を目指す

※行政は「自前主義」から、民は「公助・行政からの受託に頼る世界」から脱却

- ・ 県は、基盤（本人確認・データ連携）を開放し、民間取組みの**資本効率向上を支援**

②「デジタル地域通貨」の導入（「ふく割」発展形）

- ・ 経済対策（クーポン）に加え、行動変容を促す機能（ポイントや1円単位利用等）を提供
- ・ 健康対策や子育て支援、コミュニティ活性化、観光客向け発行による地域経済活性化を狙う

KPI

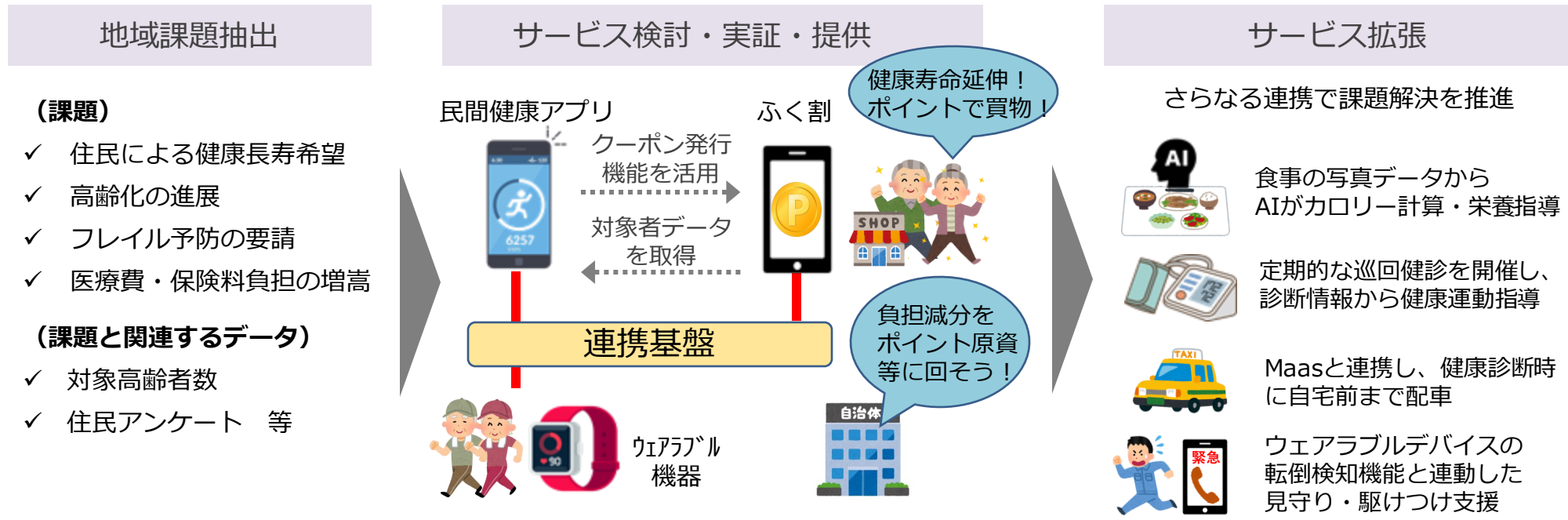
活用
サービス数
10
(R5~9年度)

「共助」のエコシステム推進の「仕掛け」として、コミュニティの構築を図っていく

地域課題解決
コミュニティ

- 目的：連携基盤を活用した共助のエコシステムを推進
- 構成員：自治体（県・市町：地域課題の抽出、保持するデータ等の公開）
企業等（課題とデータから、自社サービスの提供可能性を検討・実証・実装）
住民（課題の発信、フィードバック、シビックテックとしての参画）
- 活動：課題ごとに分科会で検討（健康・子育て・交通等） ※既存協議会（MaaS協議会等）とも連携

(取組みのイメージ)





笠間市（9月イベントに向けて）

~~9月17日（土）10:00～16:00→延期~~

候補日

10月8日9日10日

10月22日23日

参加内容別途笠間市より希望確認

参加予定企業：アンデコ様、SWAT様、DP様、MOVETEX様

アプリ名： 笠間コンシェルジュ → 笠間コネクト

（サービス内容を笠間市と検討）

福原地区： 地域コミュニティの活性化

→ 農家も多いので食と健康をテーマにできないか？

CSPFC/OZ1のリソース問題もあるので、徐々に他地域検討

大阪府内自治体

ORDENとの連携待ち。9月上旬（総務省：交付決定後、大阪府も契約が完了しCSPFC/OZ1とオフィシャル連携）

- ・府内自治体から豊能町モデルの横展開希望も含めて対応
- ・ORDENチーム：現在大阪府内自治体へヒアリング

大阪DXイニシアチブ

→デジタル行政の一元管理団体が目的（民営化） デジタル申請などポータルサイトを開発

OSPF、GovTech Osakaなど色々な団体があるので、これから整理？

横浜市

デジ田に向けて

デジタル会計スクール（マッチングアプリ含め）

自治会対応・商店街対応

過疎化地域対応 他 色々・・・

9月上旬Meeting

札幌市

デジタル法人（→江川の別事業体： デジタル法人研究会）

宝塚市

MaaS（豊能町視察済み）/DNPより

9月12日Meeting（DNPから他自治体展開含む）

総務省

(令和4年度地域課題解決のためのスマートシティ推進事業に係る採択候補の決定)

大阪府

大阪府

大阪広域データ連携基盤 (ORDEN) 整備事業

(現在プロポーサル公募スタート：9月ぐらいから社会実装・実証→堺市中心)

採択：NTT西日本が採択→JP-LINK含めた連携協議9月初旬から

大阪府豊能町(光風台周辺地区等)

一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会

9月初旬に発注進めますが、対応できてないものに関しては別途調整。

9月2週目： 不明なままであれば、当初お伝えした通り**別会社と価格競争**になりまします。(9月末までにはFIX)

内閣府

未来技術社会実装事業 採択

デジタル田園都市国家構想交付金

8月末までに豊能町とCSPFCで契約 (仕様書内容レビュー：各社の提案内容)

19日午後見積/内容レビュー：来年以降の維持費含めて確認

国土交通省 (都市局)

「新モビリティサービス事業計画策定支援事業」へ審査待ち

- 見積
- 委託契約書
- NDA（有無・期限確認）
- 外注執行体制図

など事務局から 一式配布済み

CSPFCの事務局案内をよく確認ください。
事務局のリソース問題があるので、細かなサポートは難しいです。

* 契約書の説明補足

契約書の件名：総務省向けとデジ田向け

契約書のサービス維持期間： 3年デジ田、5年総務省

- 100万円以上の内容は詳細が必要になります。
（人件費も同様：単価*時間
就労時間は管理し、場合により提出を求めます）
- 1式書きは認められません
- 予算は消費税込み
- 開発費は開発所有権（資産）はCSPFC（総務省）または豊能町のものになります
- 資産は3年または5年プロジェクトに合わせて
- プロジェクト期間中（3年/5年）はサービスが運用されていること。
運用停止する場合は**返金**を求めます。
- サービスの内容が変更される場合は事前に連絡
- 翌年からの運用費：基本実装自治体負担（なので、しっかり自治体との連携）
8-9月は来年度予算のヒアリング

原課ヒアリングしますが、9月末までに来年度予算が組めていないものは継続不可能と判断します。

契約不履行になる可能性が高いので、非常に注意！！！！！！！！！！

9月10月にアンケート内容検討・構築（サービス内容&満足度）

11月～12月 アンケート構築（自動集計検討）・第1回アンケート実施

1月～2月 第2回目アンケート実施

2月～3月 第3回目アンケート実施

1月～2月（ほぼ完成版に・CSPFCと各社調整）、3月 報告書作成（完成版）

基本アンケートはGoogleアンケートをとよのんコンシェルジュにリンク
（現状アンケートリクエスト）

- ・モビリティ
- ・公園整備
- ・地域通貨
- ・見守り

本当に他無いのね？ 実績報告書に要らないね？

APIアクセスデータの自動集計は11月実装予定（JP-LINKの実装が一部発生）

APIカタログ：データ公開範囲（10月までにFIX）

11月から課金スタート。9月から課金テスト（総務省から厳しく指摘有り）

OZ1で基本作成：JP-LINKのライセンス

4月から伝えてますが、総務省からの指定です。
もし対応が無理なら案件Give upしてください。

Give upはまだ間に合います！
この後は、実績報告評価のみです！

色々な予算が同時並行で動くので、スケジュール要注意！！ アクションも色々あるので要注意！！

6月23日 分科会 提案書内容を各原課とすり合わせ（方向性の確認。スケジュール・KPIの設定の確認）

6月24日 総務省/国交省採択資料提出

7月6日 修正提案内容提出&見積提出（事務局）

7月6日 総務省/国交省向け提案内容及び見積提出

7月7日～14日 予算割り振り内容確認（豊能町&事務局）

入札・プロポーサル・随契を決定

7月7日～14日 総務省/国交省向け提案内容及び見積すり合わせ

随契のみ

7月21日 分科会提案書・見積最終FIX

7月29日 各原課と提案書 最終すり合わせ

8月1日 内示&契約書

8月1日 調達申請及び委託申請書

11月 中間監査

12月 実装完了→フィールド検証

2月末 最終納品&報告書

3月11日 CSPFCから各報告書を提出



**提案書は来年以降の費用も忘れず計算
デジ田3年/総務省5年事業継続必須
変更はOKだが、停止したら返金要求します！
予算重複はNG！
データ連携も必須！**

今回、CSPFCとまちづくり創造課の了承が得られなかったサービスに関して
サービスの内容は、デジ田、総務省で記載されている内容



不採択になる予定が非常に高い

事務局が処理できないので

CSPFC事務局からの案内

2022年 9月

1日 オンライン

8日 オンライン

15日 オンライン

22日 オンライン 総会

29日 現地 (役場本庁2階第1・2会議室)

スマートシティの取組みは豊能町とCSPFCとの連携協定をもとにおこなっております。
今後月例で原課にも分科会参加を予定します。

- ・ 各原課とのMeeting希望時の流れ
企業→CSPFC事務局→まちづくり創造課→原課
(状況把握のため、できる限り事務局同席でお願いします。オンラインで繋ぐなど)

原課とのMeeting注意点

企業から直接のコスト提示/交渉を原課と調整は行わない。

交付金や助成金の割り当てがあるので、CSPFC事務局とまちづくり創造課で確認が必要

- * コスト提示を原課と企業単独で行うと割り当てができず、案件が止まります。
- * 助成金の場合は、CSPFCが半額補填、国が半額補填しているので、割り当てができません。
CSPFCの補填は執行理事会および事務局での確認が入ります。
国からの予算（補填）：
 - ・ 各省庁の基本方針に従う。（横展開向け、新規性追求、実装/実証など）
 - ・ 予算の重複は、不可事項です。（予算の2重取りは禁止。場合により法的に裁かれます）
 - ・ 条件成立しない場合は、補助額返還を求められます。
- * 企業がCSPFCに半額補填してでも行う事業がある場合は別途相談ください。

1回 34万程度

デザイン作成、印刷、全戸配布、問い合わせ対応まで含む

発注する場合は、前月20日前までに事務局にご連絡ください。
事務局より一括して発注します。

以下のスケジュールや条件が必須となります。

―――

- ・豊能町全戸配布の場合：毎月20日に納品必須
- ・かならず前月の20日までに制作をご依頼ください

前月20日...発注

10日...デザインFIX /入稿

20日...西地区ポスティング手配完了 / 東地区に仕分け納品

※年末年始の場合は印刷所の兼ね合いでスケジュールが変わります。別途お問い合わせください

※上記のスケジュールよりお急ぎの場合は、別途特急料金（10万～）がかかります。

1. 見守り（NECネットエスアイ） アイテック 阪急阪神 ミマモルメ
2. ヘルスケア（I&H） Green Bioanalytics Maria スパーク Y4 ウエルグループ イッツコム
ドコモ MOVETEX Nocode Japan
3. 子育て（OZ1）
4. 買物支援（三井住友） ビットキー
5. デジタル教育（OZ1） NoCodeJapan とよのていねい
6. 観光（おてつたび）
7. 地域経済（Digital Platformer） とよのていねい NoCodeJapan ドコモ
8. モビリティ（ドコモ） 関西電力 SWAT Mobility OZ1 アイサンテクノロジー ネクスト・モビリティ イッツコム
9. インフラ（関西電力） アンデコ
10. デジタル行政（電通国際） NECネットエスアイ アスコエパートナーズ OZ1 セイコーソリューションズ NoCodeJapan
11. 防災（三井住友） イッツコム
12. セキュリティ委員会 トレンドマイクロ NECネットエスアイ アクリート

分科会